



凡事徹底

体育大会が終わり通常日課にもどった今週は、こちよい疲労感と達成感の中に過ぎていきました。ふと気づけば、来週で 5 月も終わり！ 1 学期も折り返し地点に差しかかっています。

6 月は部活動に加入している皆さんにとっては、一年で最も大きな大会であり、3 年生にとっては集大成である中総体があります。これが終わると期末テストが控えており、6 月も慌ただしく過ぎていきそうです。

気持ちに余裕がないと、つい自分を甘やかしてしまったり、自分ができていないことを他に責任転嫁してしまったりすることがあります。こんなときこそ、「凡事徹底」です。今年度の生徒指導目標でもあります。

この言葉は、当たり前前のことを中途半端にせず、当たり前前にきちんと取り組んでいくことを意味しており、松下電器産業（現在のパナソニック）の創業者である松下幸之助さんが大切にしていた言葉としてビジネスの世界で広く知られるようになりました。

朝は毎日決まった時間に起きる、靴を脱いだらまっすぐに並べる、先生方や地域の方にあったら大きな声であいさつをする、毎日、自学を決めた分だけ実行する etc…何も大変なことをしなければならぬわけではありません。これからみなさんが社会に出て当たり前に行わなければならないことを、今のうちからしっかりと行って毎日を過ごすことが大切です。今は、先生方や保護者の方からたくさんのサポートがあり、できないときは叱ってくれる人もいます。しかし、3 月に卒業した先輩の中には、県外へ進学し親元を離れて高校生活を送っている人がいます。また、在学中の仲間にも遠く離れたイギリスに留学して、自分の夢を追いかけている人もいます。もしかすると、1 年後、2 年後、3 年後の皆さんの姿かもしれません。今は、自分でできることを「凡事徹底」し、小さなことをしっかりと積み重ねていきましょう。



お弁当の日

5 月 20 日は体育大会の予備日だったため、給食がなくお弁当の日でした。みんな朝から保護者の方が用意してくださったお弁当をおいしくいただいていた。保護者のみなさま、ありがとうございました。次回のお弁当は 5 月 25 日（月）と 6 月 1 日（月）です。よろしくお願いします。



予行練習で…

体育大会の予行練習中に、得点係の 2 年生の〇〇くんの足にチョウがとまりました。生徒会種目の綱引きの予行練習の様子を写真撮影して本部席へ戻ってくると、チョウは〇〇くんの足から飛び立つことなく、ずっと羽を休めていました。よほど〇〇くんのそばが、居心地よかったのでしょうか。

ところでみなさん、チョウの数え方を知っていますか？ 日常的には「匹」とか「羽」を使うことも多いですが、学術的には「一頭、二頭…」と数えるのが正式です。当時、翻訳の仕方を誤ったからというのが定説ですが、他にも諸説あるようです。他にも普段使わないけれど正式にはちょっと変わった数え方をするものがあります。興味のある人は調べてみましょう。